

人口と世帯			
	昭和40年(12月末)	昭和45年(12月末)	昭和50年(12月末)
人口	2,818人	2,328人	2,079人
男子	2,937人	2,345人	2,141人
女子	5,755人	4,673人	4,220人
世帯	1,259世帯	1,181世帯	1,100世帯
転入した人		6人	
転出した人		10人	



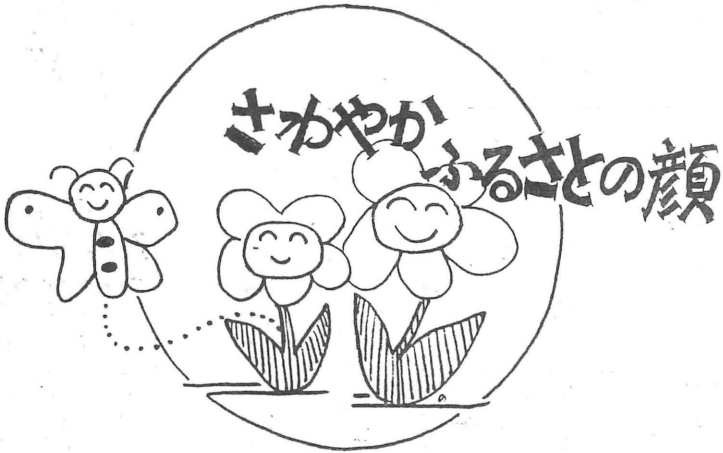
**お誕生おめでとう**

中居谷 山田正和さん長男 耕土ちゃん  
 協生 村上春義さん長女 明美ちゃん  
 協生 安川通信さん二女 あゆみちゃん  
 下鹿野川 富永盛一さん長男 泰成ちゃん

**おくやみ 申し上げます**

中野 曾根マサコさん (60才)  
 中居谷 崎野政高さん (75才)  
 汗生 中野房治さん (92才)  
 月の尾 富永カネヨさん (86才)

あなたにもはじめは消せる小さな火



雪国へ、南国へ、歳末の日本列島をふるさと列車がかけめぐった。そして一九七六年。ふるさとの正月。なつかしい顔と初めてみる顔となつた。美しい風景に囲まれるひととき——みんなありふれたふるさとの情緒もあれば、もっと個性的なふるさとの顔もある。

ふるさと  
 ××××××××  
 肱川。

明治、大正、昭和を生きるおばあちゃんの顔——その一本一本のしおをみると、三世代にわたって、ふるさとを守り、育てた一世紀の感動



(写真) 共栄 長田トクノさん(96才8か月)睦雄さん母



(写真) 柳 浅野誠司ちゃん(10か月)卓磨さん長男

「消す」ことよりも「出さぬ」注意を。

**集音マイク**

○「消火より防火を」、消防団員一八四名出動、各戸の点検、訓練実施。大谷小の街頭防火ポスター展、数年つづいて実施、学校と社会の直結の一例。永井文相いかん。(12/1防火デー)

○庁舎建設好調に進む。庁舎建設委員会現場視察。(12/5)

○本年の「くり」一千ト、三億円余と想定。くり生産流通検討会。(12/5)

○人権を守ろう。作文、書道コンクール表彰式。肱川中実施。(12/10)

○竹林経営の見なおしの気運高まる。講習会多数が受講。(12/15)

○部落長会本年最後の会、

終っての懇親会、地区代表のかくし芸も出て楽しい幕切れ。(12/19)

○町政懇談会(協生、共栄、正山集会所。活発に意見が出て盛会。(12/22)

○汗生集会所落成。酒、芸ともに勇名をもつてなる部落。深夜までにぎわう?(12/23)

○町道等級の改定のため委員会審議開始。(12/24)

○、皆んなで明るいお正月を、を合言葉に実施した歳末たすけあい運動の募金は一九万二、四〇〇円。各施設めぐまれない町内出身者におくられる。

また、共同募金は一九万四、五五三円が集まり、ありがとうございました。(12/26)

のドラマがある。

そして——先輩の築いたすばらしい文化を、次代に伝え息吹こうとする二十一世紀の男女たちのさわやかな顔がある。

××××××××

山狭の静かな緑深い山里にも新しい年がきた。

※ 明治12年の物価	
米10和	47銭
酒1升	10銭
はがき	1銭

※ 昭和元年の物価	
米10和	3円16銭
酒(上)1.8%	2円7銭
牛肉(上)100g	27銭
はがき	1銭5厘

※ 昭和50年の物価	
米10和(中)	3,900円
酒(1級)1.8%	1,050円
牛肉(上)100g	400円
はがき	10円

あいさつ

謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年は、町民の皆様にもまた、町にとりましてもよい話のない、よりきびしい一年でありました。

しかし、皆様のご努力と、町議会はもとより町の各機関、町内各種公共団体などのご指導とご協賛、また部落長を中心にした活発な部落活動を原動力に、予定した仕事を順調に進めることができ、いささかなりとも住民福祉の進展に役立ったことを喜びます。すとも、格別のご支援を厚く感謝いたします。

本年もひきつづき、町行財政の基調をなす諸条件に明るく見とおしを考えられませんか。その反面、世相がきびしくなればなるほど、住民福祉に直結する自治体の責務は重く、新しい対策が求められるでしょう。

これにこたえ、住民福祉を向上させ、町を発展させるためには、町民の衆知を集め、効果的に、町の行財政力を投入しなければなりません。

また、変化する事態に即して発想をかえ、仕事の在り方を点検吟味し、無駄を除き、旧慣にダセず。一方職員能力を開発し、自治の本旨への使命に燃え一丸となって住民各位の付託に応えねばならないと決意をあらたにいたしております。

いづれ、議会の審議を経て新年度の方針や諸事業を決め公表することとなりますが、本年も倍旧のご協力を積極的な町政への参加を心からお願ひ申しあげて、年頭のごあいさつといたします。

元旦

町長 藤川守仲  
 職員一同



